

まえがき

平成7年1月17日早朝、瀬戸内海に浮かぶのどかで美しい島に突然襲った大地震は、過疎化の進む古い町並みを一瞬にして破壊し、未曾有の大惨事となり大きな被害をもたらしました。被災に遭われた方々の恐怖と不安はどれほど大きなものであったか……

今日のマス・メディアの発達した社会にあってもこの大災害においては、被災地から遠く離れた徳島では、即刻、情報を収集することができませんでした。

このような状況下で日本赤十字社徳島県支部では、本社の要請を受けて、直ちに救護班12名を淡路島に派遣し、被害の最も大きかった一宮町、北淡町で医療救護活動を実施し、1月17日から3月31日までの74日間に亘って73個班延235名の救護班を派遣いたしました。

日本赤十字社の災害救護の活動は、赤十字としての本来の使命を根ざした重要な活動であります。また、指定公共機関として国への協力が義務づけられていますが、災害の発生にあたっては、災害救助法の適用の有無や、行政機関からの要請の有無などにかかわらず、赤十字の基本的原則に立って、迅速かつ積極的に救護活動を展開する必要があります。

幸いにも、管内赤十字施設職員や関係者のご協力をいただき、迅速な初動活動から長期に亘る救護活動を展開することができました。

このたび、記録誌を発行することといたしました。本誌は当時、淡路島に派遣された医療救護班員から、報告書として提出されていたものを、折角の貴重な体験記でもあり、今後の災害救護活動に生かすため保存版とすることとしました。

なお、ページ数に限りがあり、全員の報告書を掲載できなかったことをお詫びします。

平成9年6月

日本赤十字社徳島県支部

阪神・淡路大震災における徳島県支部の活動状況

日	時 間	内 容
1 月 17 日 (火)	9:00	本社救護課石塚係長より淡路島へ調査出動要請あり
	9:10	小松島赤十字病院へ救護班1個班待機連絡
	10:05	本社から淡路島に救護出動要請あり 小松島赤十字病院に救護班1個班を要請
	10:06	救援物資を出動予定車両に積込む 毛 布 100枚 日用品セット 100個 かんぱん 48缶
	11:00	救護班1個班及び現地調査員計12名が淡路島へ出動 支 部 3名 事務2名、看護婦1名 病 院 7名(1コ班) 医師1名、婦 長1名、看護婦4名、事務1名 血液センター2名 事務1名、看護婦1名
	11:20	本社へ状況報告
	12:20	西淡町役場到着(被害なし)同町役場で情報の収集にあたる 淡路島北部が相当な被害を受けているとの情報を得て、直ちに島北部へ向かう
	13:30	途中、一宮町の被害が大きかったため同町災対本部へ救護を申し出る 「老人福祉センター」に約60名避難しており、けが人がいる為救護活動を実施中との連絡あり
	15:00	一宮町で7名の応急処置をし、14時30分に北淡町災対本部到着 北淡町町民センターでは既に臨時救護所(地元医師1名、保健婦1名、看護婦2名)が開設されており、日赤救護班は現地スタッフと合同で救護を実施中との連絡あり
	15:20	徳島県赤十字血液センターから兵庫県立淡路病院へ血液供給 赤血球製剤 32単位(A型・O型)
	16:00	北淡町町民センター避難所には、死体安置所が設置されており、数人の死者が発生している状況であった 同町民センター救護所で救護ののち、北淡町町内の富島小学校(避難者約120名)野島小学校の避難所を2班に分かれて巡回。 富島小学校10人、野島小学校5人応急処置けがや血圧が上がった患者の処置
	18:00	臨時救護所でのけが人等の救急患者の診療が一段落し、避難所で避難している方の健康管理に移る

日	時 間	内 容
1 月 17 日 (火)	18:30	小松島赤十字病院へ救護班第2班を18日午前8時30分に出動要請
	20:30	現地に出動していた現地調査員が(事務職員1名看護婦3名)帰社し、被害状況報告
	20:30	救護班より北淡町災対本部から「赤ちゃん用の哺乳びん紙おむつが無いので至急送ってほしい」との要請があったので至急調達のうえ搬送するよう連絡あり、救護班から医薬品、衛生材料の不足品目について小松島赤十字病院へ要請あり
	21:00	一宮町老人福祉センター(佐藤医師を含む5名)と北淡町町民センター(逢坂課長を含む3名)2班に分かれて救護活動を実施
	22:15	毛 布 500枚 粉ミルク 8缶 哺乳びん 10本 紙おむつ(乳児用)7袋 積込み北淡町へ出発
1 月 18 日 (水)	8:30	小松島赤十字病院第2班 医 師 1名 婦 長 1名 看護婦 5名 計7名 医薬品、衛生材料等 紙おむつ(乳児用、大人用)2箱 粉ミルク 5缶 哺乳びん 20本 積込み病院を出発
	8:35	毛 布 180枚 日用品セット 564セット 水(2ℓ) 180本 かんぱん 576缶 タ オ ル 360本 積込み出発
	11:30	毛 布 2,000枚 積込み
	11:00	支部義援金受付開始 阿波銀行鮎喰(鮎喰)支店 口座番号(普通)0990607

日	時 間	内 容
1 月 18 日 (水)	14:40	口座名義 日本赤十字徳島県支部 支部長 圓 藤 寿 穂 受付期間 平成7年1月18日から 平成7年4月17日まで ☆ちくわ 7,000本 阿波蒲鉾協同組合 理事長 谷 美代治 氏より寄贈 ☆梅干し 1,000パック 有限会社 麻植商店 専務取締役 麻植 康夫 氏より寄贈 ☆輸液セット 1箱 輸 液 2箱 医薬品等 1箱 医療法人 杏林会 渡辺医院 院長 渡邊 優 氏より寄贈 救援物資積み込み
	14:50	徳島県赤十字血液センターから兵庫県立淡路病院へ血液供給 赤血球製剤 4単位 (A型・O型) 血小板製剤 20単位 (A型・O型)
	15:00	第1個班8名 帰社報告 (17日88名救護)
	15:00	寄贈救援物資 出発
	15:25	徳島県赤十字血液センターから淡路島鮎原診療所へ血液供給 赤血球製剤 4単位 (A型)
	17:00	救護班のうち、5名が一宮町老人福祉センターの避難所へ移動
	18:00	逢坂課長 (一宮町) より 北淡町、一宮町での救護活動は、比較的落ちついている為、現地のところ第3 班の救護班の要請はなしと連絡あり
1 月 19 日 (木)	9:30	北淡町及び一宮町に徳島大学及び香川医科大学付属病院の医療団が本日から派 遣されるが、日赤に対しても北淡町へ看護婦、事務職員派遣要請あり
	9:35	救護班第3班の派遣を小松島赤十字病院、ひのみね整肢医療センターに要請 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事 務 2名 支部・ひのみね

日	時 間	内 容
1 月 19 日 (木)	11:00	徳島銀行義援金口座開設 徳島銀行加茂名支店 口座番号(普通) 1756684 口座名義 日本赤十字社徳島県支部 支部長 圓 藤 寿 穂
	13:00	救護班第3班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 2名 支部・ひのみね 計4名
	14:00	徳島県赤十字血液センターから兵庫県立淡路病院八木病院へ血液供給 淡路病院 { 赤血球製剤 22単位 血漿製剤 5単位 血小板製剤 10単位 八木病院 アルブミン製剤 10本
	15:00	第3班救護活動開始
20 日 (金)	17:30	小松島赤十字病院へ救護班第4班を20日午前10時出動要請 看護婦 2名 事務 2名
	18:30	第2班8名 婦社報告(18日98名救護)
	10:00	救護班第4班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
20 日	〃	全国から兵庫県支部へ送られた災害物資の輸送班編成について、第5ブロックの取りまとめを本社から依頼され、各支部に伝達し、派遣の調整を行う
	〃	徳島県赤十字血液センターから兵庫県立淡路病院へ血液供給 血小板製剤 10単位(A型)
20 日 (金)	11:00	信用金庫義援金口座開設 徳島信用金庫本店 (普通) 45336 鳴門信用金庫センター(普通) 100110 阿南信用金庫本店 (普通) 313388

日	時 間	内 容
1 月 20 日 (金)	14:20 14:25 16:30	口座名義 日本赤十字徳島県支部 支部長 圓 藤 寿 穂 本社から救護班出動計画表(1/20~1/25)届く 本県は淡路島担当。また兵庫県支部へ救護物資輸送班の出動者を決定す 小松島赤十字病院へ救護班を25日まで出動要請 看護婦 2名 事 務 1名 第3班4名 帰社報告(19日147名救護)
1 月 21 日 (土)	10:00 15:00 19:50	救護班第5班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事 務 1名 小松島赤十字病院 計3名 第4班3名 帰社報告(20名183名救護) 本社医療事業部岩田氏から救護班を引き続き31日まで淡路島へ出動の要請がある
1 月 22 日 (日)	10:00 10:50 14:45 15:55	救護班第6班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事 務 1名 小松島赤十字病院 計3名 兵庫県支部応援のため救護物資輸送班(神戸方面)出発 支 部 1名 ひのみね 1名 2名 救護物資輸送班(吉田係長)から 「兵庫県支部へ到着、同支部の指揮下に入る」との連絡あり 第5班3名 帰社報告(21日166名救護)
1 月 23 日 (月)	10:00 14:20	救護班第7班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事 務 1名 ひのみね 計3名 救護物資輸送班(吉田係長)から報告あり ・西宮市を中心に配分している

日	時 間	内 容
1 月 23 日 (月)	17:30	第6班3名 帰社報告(22日176名救護) <ul style="list-style-type: none"> ・風邪、消毒、湿布交換等 ・睡眠剤投与 ・心筋梗塞の患者あり
1 月 24 日 (火)	10:00	救護班第8班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	15:30	第7班3名 帰社報告(23日196名救護) <ul style="list-style-type: none"> ・小児科の患者が多い ・消毒薬、衛生材料は充分ある ・40~50人程下痢、嘔吐等
1 月 25 日 (水)	9:30	救援物資輸送班(神戸方面)第2班出発 支 部 1名 ひのみね 1名 計2名
	10:00	救護班第9班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	14:30	兵庫県支部派遣の救援物資輸送班第1班(神戸方面) 帰社報告 <ul style="list-style-type: none"> ・指定避難所以外の避難所には救援物資が届いていない
	15:00	第8班3名 帰社報告(24日168名救護) <ul style="list-style-type: none"> ・下痢、嘔吐、インフルエンザ等 ・患者は食事の前後の多い ・食事はおにぎりや、避難者が自主的に野外で豚汁を調理し差入れがあった
	17:30	救援物資輸送班第2班、兵庫県支部へ14時に到着し活動中との報告あり
1 月 26 日 (木)	10:00	救護班第10班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	10:40	救援物資輸送班第2班(神戸方面)から

日	時 間	内 容
1 月 26 日 (木)	16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・本日から本部付けとなり、物資の積込み業務を担当しているが、物資の整理ができていない
	18:50	第9班3名 帰社報告 (25日144名救護) <ul style="list-style-type: none"> ・90名位はインフルエンザ等 ・夜は20時～22時だけ仮眠できた 救援物資輸送班第2班 (神戸方面) から本日の業務終了報告あり
1 月 27 日 (金)	10:00	救護班第11班支部出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	11:00	災害支援対策について支部及び施設の事務部長・看護部長より緊急会議 <ul style="list-style-type: none"> ・救援活動の状況について ・本社災害対策本部の対応について ・徳島県支部の今後の対応について (淡路島・北淡町への救護班派遣の割り振りについて)
	14:35	北淡町町民センター仮診療所、井宮医師 (国保北淡診療所) から電話があり 「香川医大が2月21日まで継続してくれるので、日赤看護婦さんに引き続き応援を頼みたい」との要請あり 「2月末まで現状どおり派遣します」と回答する
	16:00	第10班3名 帰社報告 (26名165名救護) <ul style="list-style-type: none"> ・かぜのため点滴 ・消毒、ガーゼ交換等
	18:40	救援物資輸送班第2班 (神戸方面) から 「兵庫県支部扱いの救援物資はほとんど配り終えた。今後の事を21:00のミーティングで協議する。」との連絡あり
1 月 28 日 (土)	10:00	救護班第12班支部出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	16:00	救援物資輸送班第2班1名 帰社報告
	17:00	第11班3名 帰社報告 (27日141名救護) <ul style="list-style-type: none"> ・かぜのため点滴

日	時 間	内 容
28 日 (土)		<ul style="list-style-type: none"> ・消毒、ガーゼ交換等 炊き出し 鳴門市赤十字奉仕団19名（北淡町町民センター）
1 月 29 日 (日)	10:00	救護班第13班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	15:30	第12班3名 帰社報告（28日127名救護） <ul style="list-style-type: none"> ・8割が風邪の症状（点滴患者多数あり） ・消毒、ガーゼ交換等
	18:35	本社災害対策本部関口係長から「兵庫県支部救護物資輸送班については、物資の整理がついたので、第5ブロックの明日からの派遣はストップとする」との連絡あり
	18:40	救援物資輸送班（神戸方面）横田参事から物資の在庫なし、明日帰途につくとの連絡あり
1 月 30 日 (月)	10:00	救護班第14班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	10:40	本社社長より感謝と激励の電話あり
	12:00	救援物資輸送班第2班横田参事帰社報告
	15:00	第13班3名 帰社報告（29日102名救護） <ul style="list-style-type: none"> ・風邪で熱が高い（点滴患者） ・後片付け等で切傷 ・嘔吐、下痢は少なくなる ・避難者は食欲がなく、不眠状態 ・避難所は寒い
	15:40	本社田中総務部長及び小原局長、北淡町小久保町長訪問
	18:30	本社田中総務部長陣中見舞いのため来部
	19:50	本社青木総務局長から 「皇太子陛下、同妃殿下から徳島県への激励の御言葉を賜った」との連絡あり

日	時 間	内 容
1 月 31 日 (火)	10:00	救護班第15班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	10:15	本社田中総務部長、小松島赤十字病院へ陣中見舞いをした後、北淡町へ移動
	14:00	四国銀行義援金口座開設 四国銀行徳島支店 口座番号(普通) 0452742 口座名義 日本赤十字社徳島県支部 支部長 圓 藤 寿 穂
	16:10	第14班3名 帰社報告(30名93名救護) ・風邪がやはり多い(内服処方及び点滴) ・震度3の余震あり
	16:30	天皇・皇后両陛下北淡町町民センター避難者お見舞い 本 社 田中総務部長 支 部 小原事務局長 病 院 松森院長、岡田看護副部長 北淡町町民センター入口で出迎え
	17:05	天皇・皇后両陛下北淡町町民センターからご出発
2 月 1 日 (水)	10:00	救護班第16班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 徳島乳児院 計3名
	15:50	第15班3名 帰社報告(31日80名救護、うち1名死亡) ・屋根から落ち1名死亡(心肺蘇生) ・吸引器のマウスピース(20コ入)とディスポ注射針(100本入)の要請あり
2 月 2 日 (木)	10:00	救護班第17班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 ひのみね 計3名
	15:40	第16班3名 帰社報告(1日71名救護) ・ほとんど風邪の症状

日	時 間	内 容
2 月 3 日 (金)	8:40	本社から淡路島用及び支部備蓄分の毛布とお見舞いセット到着 毛 布 1,000枚 お見舞いセット 1,002個
	10:00	救護班第18班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事 務 1名 ひのみね 計3名
	13:20	本社対策本部三根次長（兵庫県支部から） 「現在の兵庫県での第5ブロックからの医療救護班3コ班を2コ班に縮小したい」との連絡あり
	14:55	本社対策本部三根医療事業部次長（兵庫県支部から）再度「1コ班に縮小したい」との連絡あり
	15:40	第17班3名 帰社報告（2日79名救護） ・胃腸炎等ほとんど風邪の症状 ・虫垂炎、右小脳梗塞疑いの患者をそれぞれ国公立病院へ搬送
	16:30	医療救護班第5ブロック分調整し本社報告す
2 月 4 日 (土)	10:00	救護班第19班支部出発 看護婦 1名 小松島赤十字病院 看護婦 1名 徳島血液センター 事 務 1名 ひのみね 計3名
	10:05	本社救護課から北淡町へ救護物資輸送連絡あり（夕方北淡町役場到着予定） 漬物バック 5,000袋
	11:15	本社岡本課長から 「淡路島の仮設住宅居住者に対して徳島県支部から送ってほしい」と依頼あり 1,300戸分 ・毛布 1戸 1枚 ・日用品セット 1戸 1セット
	15:50	第18班3名 帰社報告（3日62名救護） ・胃腸炎等ほとんど風邪の症状

日	時 間	内 容
2 月 4 日 (土)	16:15	福岡県支部田中氏から 「お米12トンを北淡町に援助したい」と連絡あり
	17:20	本社岡本課長から毛布、日用品セットの追加連絡あり ・合計150戸分ずつ6日までに届けること
2 月 5 日 (日)	10:00	救護班第20班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 ひのみね 計3名
	15:50	第19班3名 帰社報告(4日68名救護) ・被災家屋の後片付け等で擦過傷や打撲が増えてきている ・風邪の悪化で肺炎をおこしている人もいる
2 月 6 日 (月)	9:30	本社から淡路島用及び支部備蓄分の毛布到着 毛 布 1,000枚
	10:00	救護班第21班支部出発 看護婦 2名 病院・血液センター 事務 1名 ひのみね 計3名
	11:15	淡路福祉事務所へ津名町仮設住宅用救援物資を輸送(7日入居予定) 日用品セット 150個 お見舞い品セット 150個
	16:10	第20班3名 帰社報告(5日75名救護) ・町民センター避難者は310人 ・階段から転落し右手首骨折患者を河上整形へ搬送 ・めまい、不眠等
2 月 7 日 (火)	10:00	救護班第22班支部出発 看護婦 2名 病院・徳島乳児院 事務 1名 病院 計3名
	11:40	福岡県支部田中氏から 「お米9トンを北淡町に2月10日9時頃輸送到着予定」と連絡あり

日	時 間	内 容
2月7日 (火)	16:00	第21班3名 帰社報告(6日75名救護) ・7日午前中避難所の北淡町野島小学校(避難者80名)で巡回診療を行い15名救護する(火曜日と金曜日巡回診療)
2月8日 (水)	10:00	救護班第23班支部出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 血液センター 計3名
	14:10 16:00	淡路島仮設住宅用ハイラップ等15箱到着 第22班3名 帰社報告(7日74名救護 うち巡回診療15名含む) ・北淡町町民センター避難者335名 ・ほとんどが内服等の処方によって処置
2月9日 (木)	10:00	救護班第24班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	15:40	第23班3名 帰社報告(8日68名救護) ・けがや不眠が増えつつあるが、大半は風邪の症状
2月10日 (金)	10:00	救護班第25班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	10:40 16:10	本社から淡路島救援物資到着 あったかセット 1,000セット ・くつした大人用 5足 ・ " 子供用 5足 ・ホカロン 20コ ・マスク 5枚 第24班3名 帰社報告(9日62名救護) ・ほとんど風邪

日	時 間	内 容
2 月 11 日 (土)	10:00	救護班第26班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	14:40	第25班3名 帰社報告(10日69名救護 うち巡回診療13名含む)
2 月 12 日 (日)	10:00	救護班第27班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名 NHK徳島放送局取材同行
	14:40	第26班3名 帰社報告(11日65名救護) ・高 血 圧 ・感 冒 ・切 創 等
2 月 13 日 (月)	8:00	一宮役場へ救護物資輸送 ☆ダンボール箱 221個 本州製紙株式会社 徳島段ボール事業部より寄贈
	10:10	救護班第28班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	15:40	第27班3名 帰社報告(12日58名救護) ・救護所より抗体検査(1件)血液センターへ依頼 炊き出し 板野郡(7町赤十字奉仕団約40名北淡町5カ所)
	10:00	救護班第29班支部出発
2 月 14 日 (火)		看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	15:40	第28班3名 帰社報告(13日61名救護) ・感 冒 34名 ・高血圧等

日	時 間	内 容
2 月 15 日 (水)	10:00	救護班第30班支部出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 血液センター 計3名
	15:40	第29班3名 帰社報告(14日63名救護) ・外傷が目立って増えてきた
2 月 16 日 (木)	10:00	救護班第31班支部出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 病院 計3名 ・13日血液センターへ依頼の抗体検査結果持参
	15:20	第30班3名 帰社報告(15日52名救護)
2 月 17 日 (金)	10:00	救護班第32班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 ひのみね 計3名
	10:30	淡路福祉事務所へ津名町仮設住宅用救援物資を輸送後、北淡町救護所へ移動 (逢坂・吉田)
		日用品セット 500個 お見舞い品セット 504個 あったかセット 610袋
	15:00	北淡町救護所で井宮Drと今後の救護派遣について協議(逢坂・吉田)
	16:00	第31班3名 帰社報告(16日46名救護)
2 月 18 日 (土)	17:40	救援物資輸送班帰社報告 ・3月末日まで救護班を派遣することに決定
	10:00	救護班第33班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 小松島赤十字病院 計3名
	14:55	第32班3名 帰社報告(17日53名救護)

日	時 間	内 容
2 月 19 日 (日)	10:00	救護班第34班支部出発 看護婦 2名 小松島赤十字病院 事務 1名 ひのみね 計3名
	14:10	第33班3名 帰社報告(18日28名救護)
2 月 20 日 (月)	9:50	石川県支部から津名保健所へ消臭剤を大鳴門橋経由で本日輸送するとの連絡あり
	10:00	救護班第35班支部出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 病院 計3名
	14:20	第34班3名 帰社報告(19日33名救護)
2 月 21 日 (火)	10:00	救護班第36班支部出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	15:30	第35班3名 帰社報告(20日48名救護)
	17:30	津名保健所から本日石川県支部から消臭剤が第1便50ケース(1ケース60本入り)が到着したの連絡あり
		22日 第2便 50ケース 23日 第3便 34ケース 合計 134ケース
2 月 22 日 (水)	10:00	救護班第37班支部出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 血液センター 計3名
	15:00	今後の医療救護支援体制について支部・施設打合せ会議を行う
	15:30	第36班3名 帰社報告(21日53名救護 うち巡回診療8名含む)
	16:32	兵庫県支部から鳴門市地区へ義援金を21日に送金したとのFAXを受信する 88件分 880万円

日	時 間	内 容
2 月 23 日 (木)	10:00	救護班第38班支部出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 病院 計3名
	11:00	本社から災害救援物資到着 お見舞い品セット 600セット
	14:30	第37班3名 帰社報告(22日36名救護)
2 月 24 日 (金)	10:00	救護班第39班支部出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	11:00	鳴門市地区から本社用災害救援物資を受取の為来部 お見舞品いセット 90セット 本社毛布 90枚
	14:00	第38班3名 帰社報告(23日36名救護 うち巡回診療2名含む)
2 月 25 日 (土)	10:00	救護班第40班支部出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	15:40	第39班3名 帰社報告(24日51名救護 うち巡回診療2箇所13名含む) ・北淡町町民センター避難者283名
2 月 26 日 (日)	10:00	救護班第41班支部出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 病院 計3名
	15:00	第40班3名 帰社報告(25日43名救護)
2 月 27 日 (月)	10:00	救護班第42班支部出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 ひのみね 計3名
	15:00	第41班3名 帰社報告(26日36名救護)

日	時 間	内 容
2 月 28 日 (火)	10:00	救護班第43班支部出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	16:00	第42班3名 帰社報告(27日35名救護) ・1名右大腿骨頸部骨折疑いがあるため県立淡路病院へ搬送する
3 月 1 日 (水)	10:00	救護班第44班出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 病院 計3名
	10:30	淡路福祉事務所へ仮設住宅用救援物資を輸送 日用品セット 960個 お見舞品セット 390個
	15:00	第43班3名 帰社報告(28日71名救護 うち巡回診療2箇所13名含む)
3 月 2 日 (木)	10:00	救護班45班出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 病院 計3名
	15:40	第44班3名 帰社報告(1日66名救護) ・風邪がふえてきている
3 月 3 日 (金)	10:00	救護班第46班出発 看護婦 2名 事務 1名 計3名
	14:50	第45班3名 帰社報告(2日40名救護)
3 月 4 日 (土)	8:45	兵庫県支部及び須磨救護ステーション(第5ブロック)へ陣中見舞いの為出発 小原局長、逢坂課長、吉田係長
	10:00	救護班第47班出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 ひのみね 計3名
	15:00	第46班3名 帰社報告(3日60名救護 うち巡回診療12名を含む)

日	時 間	内 容
3 月 4 日 (出)		<ul style="list-style-type: none"> ・北淡町町民センター避難者270名（3 / 2 現在） ・野島小学校避難者69名（3 / 3 現在） ・浅野小学校は避難者なし
3 月 5 日 (日)	10:00	救護班第48班出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事 務 1名 ひのみね 計3名
	14:40	第47班 3名 帰社報告（4日57名救護）
3 月 6 日 (月)	10:00	救護班第49班出発 看護婦 2名 病院・乳児院 事 務 1名 ひのみね 計3名
	15:00	第48班 3名 帰社報告（5日44名救護）
3 月 7 日 (火)	10:00	救護班第50班出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事 務 1名 ひのみね 計3名
	12:00	鳴門市地区（福祉事務所）の義援金配分状況「被災者に案内文を発送し、昨日から本人へ手渡し配分している。7日現在34件配分済み」
	15:20	第49班 3名 帰社報告（6日45名救護）
3 月 8 日 (水)	10:00	救護班第51班出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事 務 1名 血液センター 計3名
	15:00	第50班 帰社報告（7日43名救護 うち巡回診療5名を含む） 炊き出し 山川町赤十字奉仕団15名（北淡町1カ所）
3 月 9 日 (木)	10:00	救護班第52班出発 看護婦 2名 支部・病院 事 務 1名 ひのみね 計3名
	11:00	淡路島福祉事務所へ仮設住宅用救援物資を輸送 日用品セット 70個

日	時 間	内 容
3 月 9 日 (木)	15:15	タオル 5,000枚 石 鹼 5,000個 サランラップ 500本 アルミホイル 250本 第51班3名 帰社報告(8日52名救護)
3 月 10 日 (金)	10:00 16:00 16:50	救護班第53班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名 第52班3名 帰社報告(9日30名救護) 本社医療事業部本多課長他職員1名淡路島視察のため来県
3 月 11 日 (土)	9:30 10:00 15:10	本社本多課長他職員1名淡路島視察並びに、逢坂課長、中津看護部長 今後の医療体制について井宮Drと協議のため淡路島へ出発 救護班第54班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名 第53班3名 帰社報告(10日51名救護 うち巡回診療14名含む)
3 月 12 日 (日)	10:00 14:30	救護班第55班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名 第54班3名 帰社報告(11日35名救護)
3 月 13 日 (月)	10:00 15:00	救護班第56班出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 病院 計3名 第55班3名 帰社報告(12日44名救護)
3 月 14 日 (火)	10:00	救護班第57班出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 病院 計3名

日	時 間	内 容
	15:10	第56班3名 帰社報告(13日45名救護)
3 月 15 日 (水)	10:00	救護班第58班出発 看護婦 2名 病院・ひのみね 事務 1名 病院 計3名
	14:30	第57班3名 帰社報告(14日39名救護 うち巡回診療5名含む)
3 月 16 日 (木)	10:00	救護班第59班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	14:20	高知県支部から救援物資到着 日用品セット 600個
	14:40	第58班3名 帰社報告(15日42名救護)
3 月 17 日 (金)	10:00	救護班第60班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	14:10	第59班3名 帰社報告(16日48名救護)
	14:30	淡路福祉事務所へ仮設住宅用救援物資を輸送 日用品セット 80個
3 月 18 日 (土)	10:00	救護班第61班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	14:40	第60班3名 帰社報告(17日54名救護 うち巡回診療10名含む)
3 月 19 日 (日)	10:00	救護班第62班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	16:00	第61班3名 帰社報告(18日41名救護)

日	時 間	内 容
3 月 20 日 (月)	1 0 : 0 0	救護班第63班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	1 0 : 3 0	兵庫県支部から防塵マスク 3,600枚到着
	1 5 : 1 0	淡路福祉事務所所長 徳 田 栄 一 氏 " 総務課長 居 内 和 廣 氏 " " 主事 和 田 敏 治 氏 お礼挨拶に来部
	1 5 : 5 0	第62班3名 帰社報告 (19日37名救護)
3 月 21 日 (火)	1 0 : 0 0	救護班第64班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	1 5 : 0 0	第63班3名 帰社報告 (20日44名救護)
3 月 22 日 (水)	1 0 : 0 0	救護班第65班出発 看護婦 2名 病院・血液センター 事務 1名 病院 計3名
	1 5 : 0 0	第64班3名 帰社報告 (21日46名救護)
3 月 23 日 (木)	1 0 : 0 0	救護班第66班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	1 5 : 3 0	第65班3名 帰社報告 (22日40名救護)
3 月 24 日 (金)	1 0 : 0 0	救護班第67班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	1 0 : 2 0	淡路福祉事務所から救援物資が到着したとの連絡あり 電気ポット 1, 4 0 0 個
	1 0 : 2 0	兵庫県支部へ第5ブロックから派遣のコーディネーター沖本氏 (広島県支部)

日	時 間	内 容
24 日 (金)	15:50	より、救護ステーションの救護活動は本日をもって終了との連絡あり 第66班3名 帰社報告(23日28名救護)
3 月 25 日 (土)	10:00	救護班第68班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	15:25	第67班3名 帰社報告(24日27名救護) ・井宮Drから3月31日の12時に北淡町仮診療所を閉鎖するとの伝言あり
3 月 26 日 (日)	10:00	救護班第69班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	15:15	第68班3名 帰社報告(25日33名救護)
3 月 27 日 (月)	10:00	救護班第70班出発 看護婦 2名 病院・血液センター 事務 1名 血液センター 計3名
	10:20	淡路島7市町教育委員会へ防じんマスク配布のため2名出発 洲本市 80枚 津名町 150枚 東浦町 400枚 淡路町 70枚 北淡町 1,150枚 一宮町 1,200枚 五色町 250枚
	15:40	第69班3名 帰社報告(26日31名救護)
3 月 28 日 (火)	10:00	救護班第71班出発 看護婦 2名 病院・血液センター 事務 1名 血液センター 計3名
	16:00	第70班3名 帰社報告(27日26名救護)
	17:30	本社大久保医療事業部長、安保主事、北淡町視察を終え来県

日	時 間	内 容
3 月 29 日 (水)	9:00	本社大久保医療事業部長、安保主事、各施設挨拶廻った後、帰京
	10:00	救護班第72班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	15:30	第71班3名 帰社報告(28日34名救護)
3 月 30 日 (木)	10:00	救護班第73班出発 看護婦 2名 病院 事務 1名 病院 計3名
	11:00	兵庫県津名保健 所 長 太田 稔明 氏 " 副 所 長 加来 敏生 氏 " 課長補佐 村浜 裕司 氏 お礼のため来部
	15:10	第72班3名 帰社報告(29日33名救護)
3 月 31 日 (金)	9:30	北淡町臨時救護所撤収のため逢坂課長、吉田係長出発
	12:00	徳島県支部救護班、現地の方々に見送られ帰途に。
	13:20	本社から北淡町仮設住宅用 皿 5,000枚を4月12日に到着する便で直送するとの連絡あり
	15:00	第73班3名 帰社報告(30日30名救護)(31日13名救護) ・救護所は午後12時をもって閉鎖した